

■施工される方へ

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が重傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

●本製品は木造用です。ALC鉄骨造・RC造などに取付けると、シャッター本体が脱落したり、変形による作動不良や雨漏りの原因になります。

■施工上のお願い

- 本説明書は本体A型で説明していますが、B・UD型も同じ手順で取付けてください。
- シャッターを取り付ける前にサッシ枠の水平・垂直および下枠の上反りが無い事を確認してください。取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になりますので、カイモノ等で調整してください。
- 本製品を軒天内部に取める場合、必ず点検口及びガイドレールが外部から取り外せる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
- 壁仕上げの際、点検口・ガイドレール部を塗り込まないでください。メンテナンスができなくなります。
- シャッター取付け部に背板(合板・板金など)がある事を確認してください。ない場合は(サッシ枠)取付け説明書に従って取付けてください。
- 本製品を取り付けた後、本体と躯体の取り合わせ部に防水テープ(別売り品)を張ってください。
- モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないように指導してください。
- モルタル剥離剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
- サッシ部分の組立て・取付けについては(サッシ枠)取付け説明書をご覧ください。

■使用部品・ねじ一覧表

ナベタッピンねじ	皿タッピンねじ	皿小ねじ	トラスタッピンねじ	ブラケット	連窓用カバー

■連窓用部品セット

連窓ブラケット	落とし錠受	つり束補強板	ナベタッピンねじ	トラス小ねじ	スクリュー釘

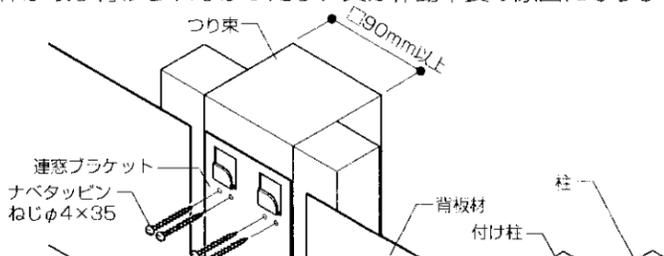
■取付け方法

1 ブラケット・連窓用ブラケットの取付け

※付け柱が取り付けられているか確認してください。付け柱は必ず取り付けてください。詳細は(サッシ枠)取付け説明書をご覧ください。

- ①ブラケット・連窓用ブラケットをサッシ枠にねじ止めします。(ブラケットは左右兼用です。)
- ②ブラケットを垂直にし、柱・付け柱にちどしでねじ4本で、固定します。連窓用ブラケットはねじ6本で固定します。

※作動不良の原因になりますので、ブラケット・連窓用ブラケットは必ず垂直に取り付けてください。本体が取り付けられなかったり、又は作動不良の原因になります。



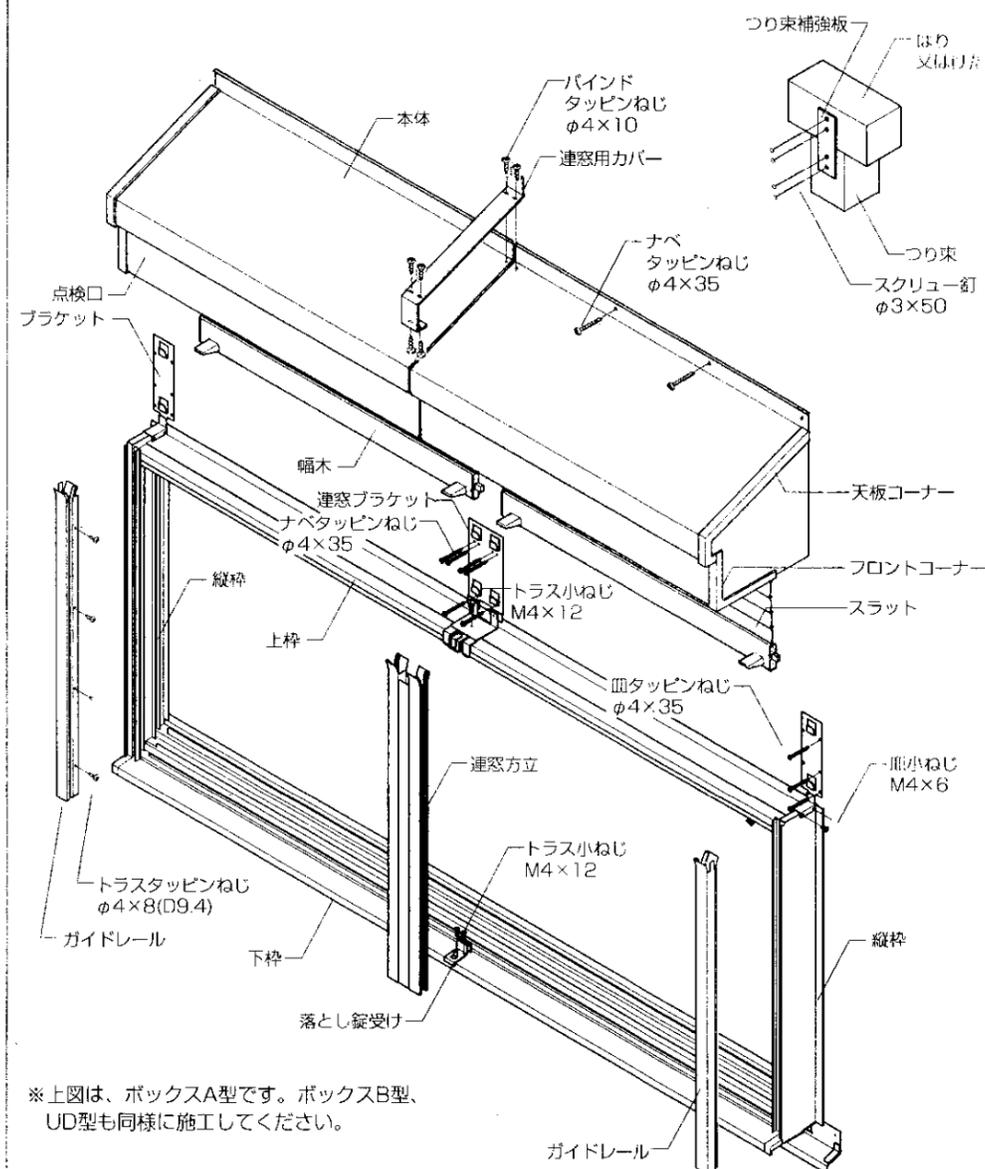
▲注意

●つり束は最大60Kgの荷重がかかりますので、□90mm以上の木材を使用してください。又つり束補強板で必ずつり束の補強をしてください。補強

▲注意

- 下記の項目を守らないと、本体の脱落や変形による作動不良・雨漏りの原因になります。
- ・外壁仕上げ後にシャッターを取り付けしないでください。必ず構造体に直接取付けてください。
- ・本製品は必ず指定のねじで取付けてください。ねじの固定位置に構造体がない場合、構造体を追加してください。
- ・ブラケット取付けの際、確実に固定されているか確認してください。
- ・つり束は最大60kgの荷重がかかりますので、□90mm以上の木材を使用してください。又、つり束補強板必ずつり束の補強をしてください。
- スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。

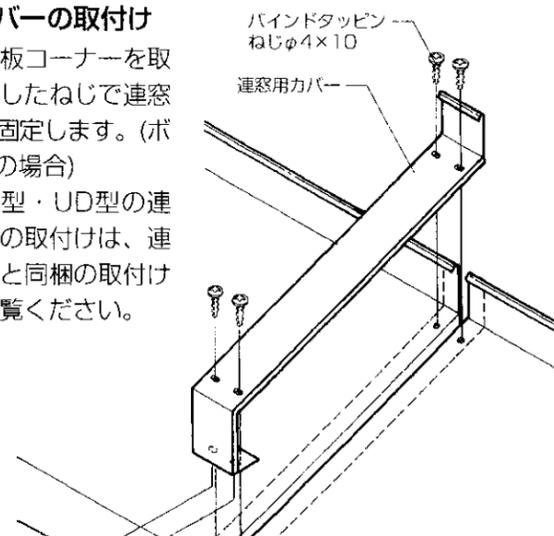
■構成図



※上図は、ボックスA型です。ボックスB型、UD型も同様に施工してください。

4 連窓用カバーの取付け

- 連窓側の天板コーナーを取り外し、外したねじで連窓用カバーを固定します。(ボックスA型の場合)
- ※ボックスB型・UD型の連窓用カバーの取付けは、連窓用カバーと同梱の取付け説明書をご覧ください。



5 スラットの横ズレの確認

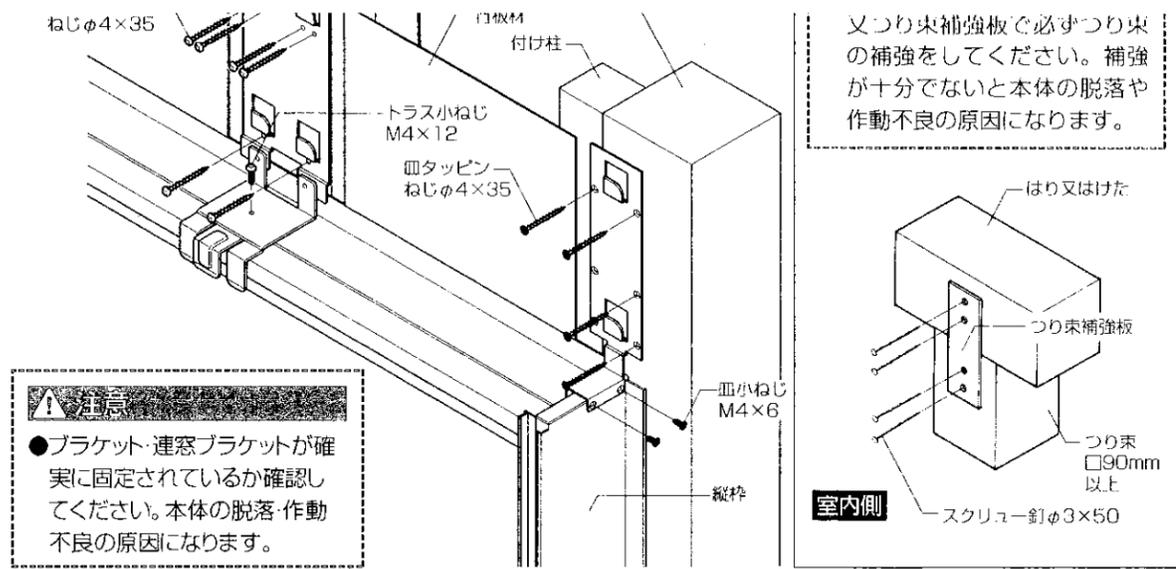
- ①幅木長さの中央を持ち、1/3程度までスラットをゆっくり下げます。横ズレがある場合はスラットを手で押しながら直してください。

▲注意

●スラットの横ズレを直す時は、ケガ防止のため、手袋をしてください。

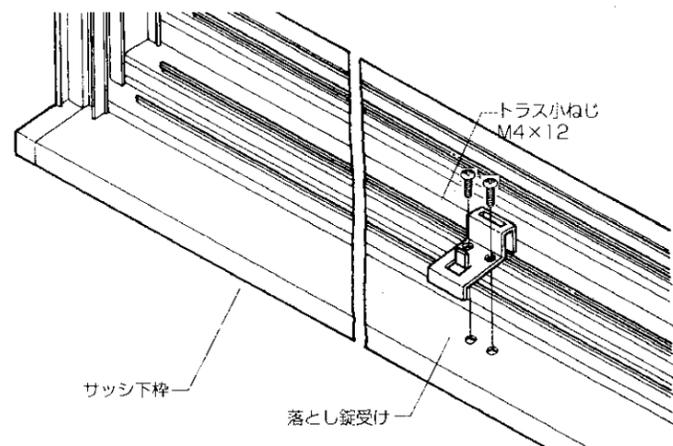
- ※縦枠・本体にスラットが引っかからない様に注意してください。
- ※幅木が本体の中に巻き込まないように注意してください。
- ②スラットをゆっくり上げます。





2 落とし錠受けの取付け

- サッシ下枠の加工穴に落とし錠受けをねじ止めします。



3 本体の取付け

※本体に巻き付けてある結束バンドは、本体取付け完了まで切らないでください。幅木が本体の中に巻き込み開閉の設定が狂います。又スラット幅木を傷つけますのでお止めください。

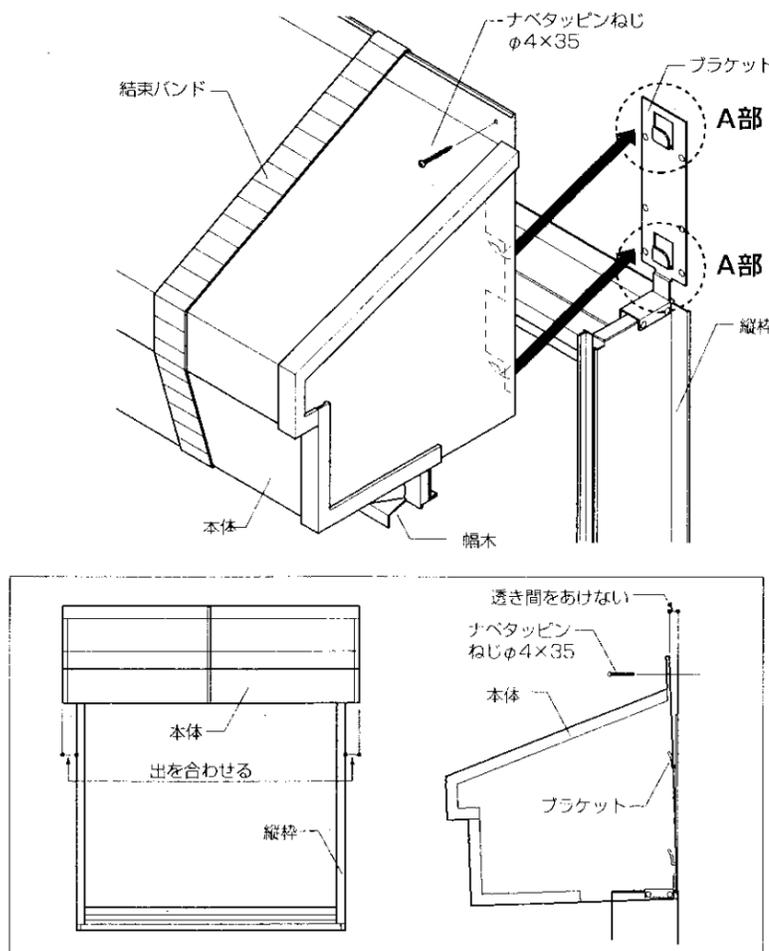
※本体を立てたり斜めにしないでください。スラットが片寄り、作動不良の原因になります。

①本体を躯体に固定してあるブラケット・連窓ブラケットに引掛けます。

※本体の脱落・作動不良の原因になります。A部左右4カ所とも完全に掛かっているか確認してください。

②縦枠から本体の左右の出を合わせ、本体とブラケットとの間に透き間が出来ないように固定します。

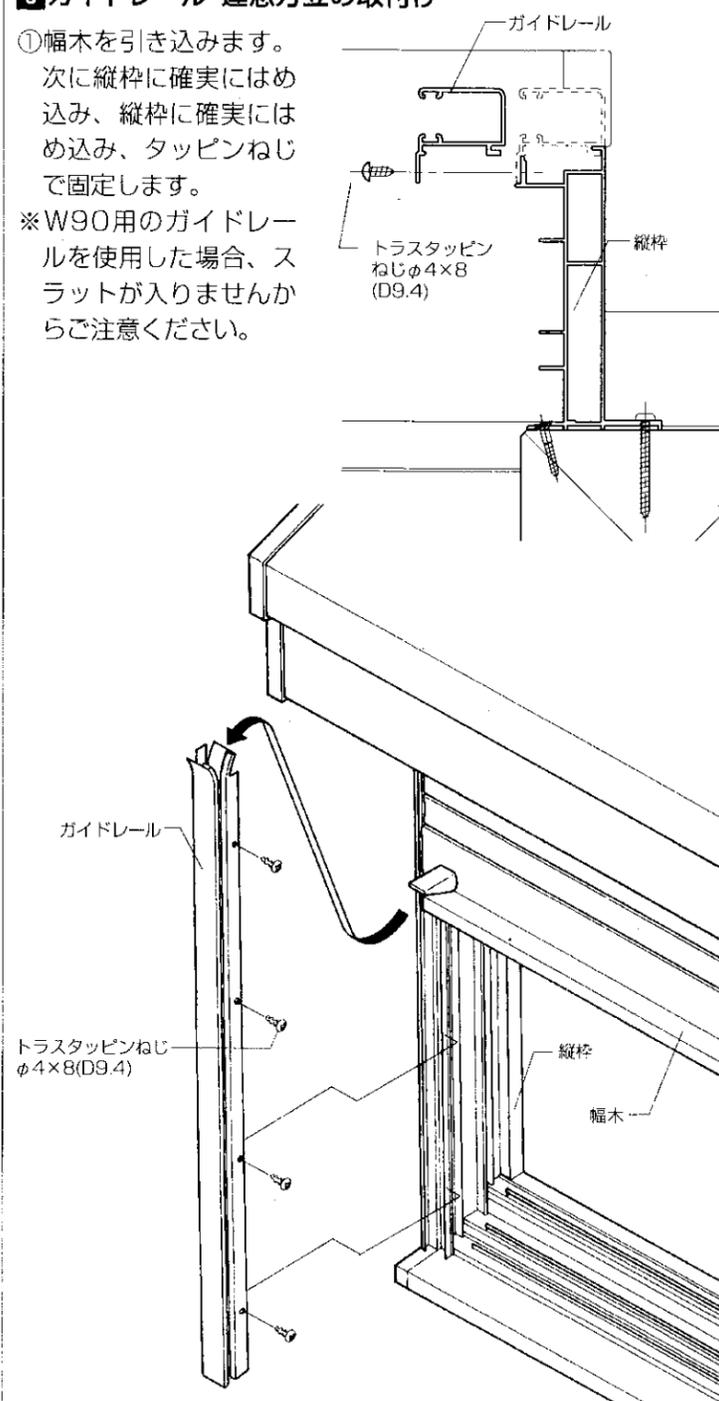
③本体の取り付け後、結束バンドを切ります。



6 ガイドレール・連窓方立の取付け

①幅木を引き込みます。次に縦枠に確実にはめ込み、縦枠に確実にはめ込み、タッピンねじで固定します。

※W90用のガイドレールを使用した場合、スラットが入りませんからご注意ください。



②連窓方立の上端に左右の幅木を引き込みます。そのまま連窓方立を押し上げ、連窓ブラケットに差し込みます。次に方立の下部を下枠の落とし錠受けにしっかり押し付け、落とし錠で固定します。

※取付け完了後、開閉作動チェックしてください。引っかかり等の支障がある場合は、上記(5)スラットの横ズレの確認を再度行ってください。

